

(第一紙) T13p100a24~

大方等大集經 虚空藏菩薩品之一 卷十四¹

- 1 大方等大集經 虚空藏菩薩品之一 卷十四¹
- 2 「」空藏言善男子何謂菩薩行功德
- 3 □虚空等者若菩薩聞仏无³量法广大如虚
- 4 空故發薩婆若心彼作是念如薩婆若无⁴量
- 5 仏无⁵量自在覺无⁵量於如是无⁵量中生无⁵量
- 6 欲精進不放逸行為仏道故当行无⁶量菩薩
- 7 所行之法所以者何如諸仏无⁷量功德莊嚴
- 8 身故我亦為莊嚴其身応成就无⁸量善根如
- 9 諸仏无⁹量功德莊嚴口莊嚴意莊嚴道場莊
- 10 嚴仏土故我亦当莊嚴口意道場仏土応成
- 11 就无¹¹量善根我当教化无¹¹量衆生為成就善
- 12 根我於无¹²量生死中為成就善根故不生厭
- 13 倦¹³諸仏世尊有无¹³量国土无¹³量智慧无¹³量神
- 14 通彼諸衆生无¹⁴量行无¹⁴量心无¹⁴量諸根差別
- 15 於生死中受无¹⁵量苦惱聚起諸煩惱我為人¹⁵
- 16 无¹⁶量諸仏法為捨无¹⁶量衆生所行諸根生死
- 17 苦惱聚故成就无¹⁷量善根菩薩以如是正觀

1 虚空藏菩薩品之二 卷十四 卷第十五 / 北涼天竺三藏曇無讖訳 / 虚空藏菩薩品第八之二 【大】

- 2 无²無【大】 大正蔵に校注なし。
- 3 无³無【大】 大正蔵に校注なし。
- 4 无⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
- 5 无⁵無【大】 大正蔵に校注なし。
- 6 无⁶無【大】 大正蔵に校注なし。
- 7 无⁷無【大】 大正蔵に校注なし。
- 8 无⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
- 9 无⁹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 10 无¹⁰無【大】 大正蔵に校注なし。
- 11 无¹¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 12 无¹²無【大】 大正蔵に校注なし。
- 13 无¹³無【大】 大正蔵に校注なし。
- 14 无¹⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
- 15 倦¹⁵倦【大】 大正蔵に校注なし。
- 16 无¹⁶無【大】 大正蔵に校注なし。
- 17 无¹⁷無【大】 大正蔵に校注なし。
- 18 无¹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
- 19 无¹⁹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 20 无²⁰無【大】 大正蔵に校注なし。
- 21 无²¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 22 无²²無【大】 大正蔵に校注なし。
- 23 人²³入【大】 大正蔵に校注なし。
- 24 无²⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
- 25 无²⁵無【大】 大正蔵に校注なし。
- 26 无²⁶無【大】 大正蔵に校注なし。

「人」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「入」（朱書）あり。

- 18 之心所作功德与諸波羅蜜相応与四摂法
- 19 相応与四无量心相応与助菩提法相応成
- 20 就衆生受持正法供給供養諸仏世尊及淨
- 21 菩薩所行相応法如是等所作无量功德与
- 22 虚空等以衆生性无量故仏智慧无量故法

(第二紙) T13p100b19~

- 1 界无量故所修亦无量如虚空衆生性仏智
- 2 慧法界无処不至一切衆生皆得蒙益菩薩
- 3 所行功徳亦復如是至一切処利益衆生以无
- 4 依着故以願方便力故善男子菩薩能 以如
- 5 是行功徳与虚空等
- 6 善男子云何菩薩行智与虚空等者若菩薩
- 7 從善知識得聞法已善順思惟所作諸行終
- 8 不放逸修少境界想已受无量想受无量想
- 9 已得如是智明得是智明已得陰方便智得
- 10 界方便智得入方便智得諦方便智得十二
- 11 因縁方便智知衆生垢亦知垢性知衆生淨
- 12 亦知淨性所謂知衆生有染心如実知有染
- 13 心无染心如実知无染心有悲心如実知有
- 14 悲心无悲心如実知无悲心有癡心如実知
- 15 有癡心无癡心如実知无癡心有諸煩惱心

27 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

28 供給||恭敬【大】

29 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

30 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

31 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

32 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

33 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。

34 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

35 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

36 行||作【大】 大正蔵に校注なし。

37 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

38 以||如【大】 大正蔵に校注なし。「以」の右傍に「如」あり。

39 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。

40 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

41 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

42 (知) - 【大】

43 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

44 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

45 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

46 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 16 如実知有諸煩惱心^无諸煩惱心如実知^无
- 17 諸煩惱心彼菩薩不見有垢心為卑^无垢心
- 18 為勝所以者何以菩薩入不二性清淨法門
- 19 智故如法性我性亦爾如我性^无我性亦爾
- 20 如^无我性諸法亦爾性清淨故若入一切諸
- 21 法性清淨者則不見^見諸法有垢有淨亦不見
- 22 諸法文字相貌不受不着故亦不見諸法障
- 23 礙蓋纏及不障礙蓋纏菩薩思惟^无量境界
- 24 離心識二法名之為智不名為識喻如虛空

(第二紙) T13p100c13~

- 1 ^无心意識菩薩亦復如是離心意識知諸法
- 2 性与虚空等智行^无礙過諸礙故善男子是
- 3 為菩薩行智与虚空等
- 4 善男子云何菩薩成就不離如如来所許念
- 5 仏者菩薩若在阿練若処或在樹下或在曠
- 6 野或在露処以得定力故能撰心不着諸縁
- 7 以不散乱心善撰所念以行相觀如来成就
- 8 三十二相八十随形好莊嚴其身取一一相
- 9 貌為成就己身故心向一切智地於如来身
- 10 憶念放鬘網光明菩薩以得解^脱希^観、^観如来
- 11 身滿一由旬二由旬三四五十由旬乃至百由
- 12 旬若過百由旬以得解^希望^観坐道場或
- 13 見転法輪或見現種種威儀説法調伏衆生
- 14 或見於一仏世界施作仏事或五仏世界或

47 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 48 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 49 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 50 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 51 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 52 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 53 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 54 見||求【大】 大正蔵に校注なし。
 55 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 56 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 57 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 58 (脱)一【大】 大正蔵に校注なし。
 59 希||悽【大】 大正蔵の校注には「悽||希(聖)*」とある。
 60 (望)十【大】 大正蔵に校注なし。
 61 希||悽【大】

- 15 十二三十四十五或百仏世界施作仏事
- 16 乃至百千**无**⁶³量世界施作仏事得解**希**⁶³望
- 17 觀自見随意若聽法若供養給侍諸仏世尊
- 18 於余威儀随意自在菩薩如是觀如来色身
- 19 已憶念仏功德或觀戒或觀定或觀慧或觀
- 20 解脫或觀解脫知見或觀力**无**⁶²所畏或觀仏
- 21 不共法或觀菩薩本行或觀成就仏地普憶
- 22 念如来成就功德已憶念如来業何等相貌
- 23 云何造業身造**邪**⁶¹口造**邪**⁶¹意造**邪**⁶¹威儀造**邪**⁶¹
- 24 可見**邪**⁶⁰不可見**邪**⁷⁰可說**邪**⁷¹不可說**邪**⁷²何国造

(第四紙) T13p101a09~

- 1 **邪**⁷³幾種身造**邪**⁷⁴如是種種憶念勝業成就不
- 2 可思議諸善根已觀如来法諸仏世尊以法
- 3 身故名為如来不以色身彼菩薩不見色是
- 4 如来不見相是如来不見種性是如来不見
- 5 陰界諸入是如来不見威儀是如来不見過
- 6 去未來現在世是如来不見因是如来不見
- 7 緣是如来不見所以是如来不見和合是如来
- 8 不見有是如来不見**无**⁷⁵是如来不見成就
- 9 是如来不見敗壞是如来不見彼有如来不
- 10 見此有如来不見如来在何所不見如来不
- 11 恃如来不分別如来不得如来喻如虚空**无**⁷⁶有
- 12 陰界入名非不利益衆生諸仏世尊**无**⁷¹有陰
- 13 界入名亦非不利益衆生善男子是為菩薩

- 62 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 63 希||稀【大】
- 64 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 65 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 66 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 67 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 68 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 69 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 70 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 71 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 72 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 73 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 74 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 75 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 76 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 77 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 14 不離如來所許念仏
- 15 善男子云何菩薩不離如來所許念法者
- 16 若菩薩念法所謂四念処四正勤四如意足
- 17 五根五力七覺分八聖道分三脫門四聖諦
- 18 甚深十二因縁六波羅蜜菩薩所応学蔵不
- 19 退転輪浄三場²²是為菩薩所応念法云何応
- 20 念念捨念欲離念滅念⁷⁹来⁸⁰无⁸¹去⁸²念⁸³无⁸⁴巢⁸⁵窟
- 21 念⁸⁶无⁸⁷自性念出世間念解⁸⁸遠⁸⁹念盡念⁹⁰无⁹¹生念
- 22 无⁹²取念⁹³无⁹⁴漏念⁹⁵无⁹⁶為念涅槃⁹⁷无⁹⁸自性作如是
- 23 念於⁹⁹法中猶有法想所以者何以有想故則
- 24 有動念有動念故則住顛倒住顛倒者¹⁰⁰无¹⁰¹有
- 25 念法若離念法非法二想知一切法是¹⁰²无¹⁰³生

(第五紙) T13p101b05~

- 1 已断法想故得⁹³无⁹⁴生忍得⁹⁵无⁹⁶所得⁹⁷无⁹⁸所有故
- 2 善男子是為不離如來所許念法
- 3 善男子云何菩薩不離如來所許念僧者
- 4 僧謂四雙八輩僧中或是阿羅漢⁹⁹或¹⁰⁰向阿羅
- 5 漢果或是阿那含向阿那含果或是斯陀含
- 6 向斯陀含果或是須陀洹向須陀洹果是為
- 7 如來¹⁰¹声聞僧復次有僧所謂不退転菩薩得
- 8 決定忍上聖正位已離諸相持着戲論次得

- | | | | |
|----|------|---|--|
| 78 | 場 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 79 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 80 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 81 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 82 | 巢 | 無 | 大正蔵の校注には「櫛 ¹⁰⁴ 巢 ¹⁰⁵ 〔聖〕*」とある。 |
| 83 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 84 | 遠 | 無 | 大正蔵に校注なし。「遠」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「達」あり。 |
| 85 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 86 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 87 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 88 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 89 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 90 | 〔諸〕 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 91 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 92 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 93 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 94 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 95 | 無 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 96 | 〔或〕 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |
| 97 | 〔如來〕 | 無 | 大正蔵に校注なし。 |

- 9 如来功德⁹⁸无⁹⁹間彼菩薩念如是等大菩薩衆⁹⁸
- 10 供養讚歎合掌給侍右邊礼敬是良祐福田
- 11 是第一僧入聖衆数是僧所応作事皆已
- 12 成辨¹⁰⁰是菩薩念僧親近菩薩僧不親近声聞僧
- 13 彼菩薩雖憶念僧不取僧数不取有数知僧
- 14 是无¹⁰¹為憶念¹⁰²行¹⁰³无¹⁰⁴變異¹⁰⁵生¹⁰⁶无¹⁰⁷滅作如是
- 15 憶念不生心行境界善男子是為菩薩不離
- 16 如如来所許念僧
- 17 善男子云何菩薩不離如如来所許念捨者
- 18 所謂捨財捨法復次有捨捨¹⁰⁸身及命捨一切
- 19 邪道復次有捨不取一切法所以者何有取
- 20 者則无¹⁰⁹捨若不取者名為究竟捨究竟捨中
- 21 則无¹⁰⁸有求¹⁰⁹求者則不望報不望報故謂為
- 22 真実捨者若菩薩行如是堅固捨隨捨發願
- 23 若捨時及發願時不見菩提及仏法而專念
- 24 捨念過去諸菩薩行道時云何行捨我今云

(第六紙) T13p101b29~

- 1 何行捨將¹¹⁰无¹¹¹不及為智者所譏¹¹²邪¹¹³即能一切
- 2 捨捨已分別所捨誰是捨者捨何等物誰作
- 3 憶念如是分別已都¹¹⁴无¹¹⁵所得不見捨者所施
- 4 物及所憶念是為菩薩不離如如来所許念
- 5 捨善男子云何菩薩不離如如来所許念戒
- 6 者若菩薩持戒至解脱処威儀行成就乃至
- 7 微戒畏如金剛恒¹¹⁶脩¹¹⁷淨命善護持戒菩薩自

⁹⁸ 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。

⁹⁹ 【応】+【大】 大正蔵に校注なし。「衆」の下に「應」(朱書)あり。

¹⁰⁰ 辨¹⁰⁰辨【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰¹ 无¹⁰¹無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰² 无¹⁰²無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰³ 无¹⁰³無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁴ 无¹⁰⁴無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁵ 无¹⁰⁵無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁶ 【捨】-【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁷ 无¹⁰⁷無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁸ 无¹⁰⁸無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁹ 无¹⁰⁹無【大】 大正蔵に校注なし。

¹¹⁰ 无¹¹⁰無【大】 大正蔵に校注なし。

¹¹¹ 邪¹¹¹耶【大】 大正蔵に校注なし。

¹¹² 无¹¹²無【大】 大正蔵に校注なし。

¹¹³ 脩¹¹³脩【大】 大正蔵に校注なし。

- 8 念戒撰身口是**无**¹¹⁴作相而謹**順**¹¹⁵奉行**脩**¹¹⁶勝正
- 9 命於薩婆若心終不廢捨純至不動亦終不
- 10 捨大慈大悲撰取教誨破戒衆生寧捨身命
- 11 不求余乘是名為戒菩薩念勝戒不瑕缺戒
- 12 不荒穢戒不求戒不染戒**无**¹¹⁷濁戒智者所歎
- 13 戒菩薩念如是等戒不恃持戒不毀破戒不
- 14 称己德不譏彼過終不捨戒亦不依戒亦不
- 15 住戒雖捨一切諸所恃着而行色行是為菩
- 16 薩不離如來所許念戒
- 17 善男子云何菩薩不離如來所許念天者
- 18 若菩薩念天所謂念欲界天或色界或**无**¹¹⁸色
- 19 界天念欲界天持戒果報故受適意色声香
- 20 味触以天五欲遊戲娛樂天衣飲食自恣滿
- 21 足一向受愛喜適意樂菩薩作是念此一切興
- 22 盛皆当衰滅是諸天等亦当**无**¹¹⁹常變異由
- 23 放逸故不造善根先有善業今悉当盡此諸
- 24 天等雖生天上猶未脫地獄畜生餓鬼之分

(第七紙) T13p101c24~

- 1 菩薩作是念已不**希**¹²⁰望生欲界天处唯除兜
- 2 率天宮兜率¹²¹**天**¹²²宮中有一生補处菩薩於一
- 3 切菩薩行以到彼岸一切諸地一切神通一
- 4 切諸定一切陀羅尼一切辯才一切菩薩事
- 5 於一切方便等以度彼岸但憶念如是功德
- 6 於此天中心生欣仰若欲生天者当願生如
- 7 是天中菩薩發心言我何時当得如是天身
- 8 菩薩復念色界諸天此諸天等由諸禪**无**¹²³
- 9 量心果報故生彼天处已過欲界欲患一心
- 10 处定**心**¹²⁴喜為食一向知受第一樂報菩薩作

- ¹¹⁴ 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- ¹¹⁵ 順||慎【大】 大正藏に校注なし。
- ¹¹⁶ 脩||修【大】 大正藏に校注なし。
- ¹¹⁷ 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- ¹¹⁸ 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- ¹¹⁹ 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- ¹²⁰ 希||悽【大】
- ¹²¹ 「率」の右傍に「卒」あり。
- ¹²² 【天】-【大】 大正藏に校注なし。
- ¹²³ 无||無【大】 大正藏に校注なし。

- 11 如是念彼色界諸天受少味故用為歡喜¹²⁵无
- 12 常有常想苦有樂想¹²⁶无 我有我想¹²⁷无 涅槃有
- 13 涅槃想此色界諸天亦有¹²⁸无 常變異未脫地
- 14 獄餓鬼畜生之分是菩薩不願生色界諸天
- 15 処唯除淨居天即彼入涅槃不還此¹²⁹聞者苦
- 16 薩作是念此是清淨諸天已脫五道流轉生
- 17 死是菩薩以如是故生敬重之心亦不願樂
- 18 求生彼処菩薩復念¹³⁰无 ¹³¹多 界諸天受¹³²无 ¹³³色之
- 19 果報已過欲界色界心処定寂靜菩薩作是
- 20 念此¹³⁴无 色界諸天離見仏聞法及供養僧此
- 21 諸天等不知求出¹³⁵无 色界法假令久住会当
- 22 變滅未脫地獄餓鬼畜生之分是故於彼人¹³⁶
- 23 処亦不願生但作是念我当作天中天如來
- 24 応供正遍知是菩薩雖念諸天不依欲界色

(第八紙) T13p102a18~

- 1 界¹³⁷无 色界天処而於三界衆生起大悲心是
- 2 為菩薩不離如來所許念天
- 3 善男子云何菩薩行諸法平等如涅槃者若
- 4 菩薩知入諸法平等如涅槃見一切衆生性
- 5 同涅槃¹³⁸如 已入涅槃者¹³⁹无 陰界諸入如是菩
- 6 薩見衆生性同涅槃過諸陰界入見如影如
- 7 夢¹⁴⁰无 有生死而現生死凡夫衆生所因結使
- 8 造煩惱業造煩惱業已受¹⁴¹无 量苦報菩薩以

- 124 心¹²⁴以【大】 大正藏に校注なし。「心」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「以」(朱書)あり。
- 125 无¹²⁵無【大】 大正藏に校注なし。
- 126 无¹²⁶無【大】 大正藏に校注なし。
- 127 无¹²⁷無【大】 大正藏に校注なし。
- 128 无¹²⁸無【大】 大正藏に校注なし。
- 129 聞¹²⁹間【大】 大正藏に校注なし。「聞」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「間」(朱書)あり。
- 130 无¹³⁰無【大】 大正藏に校注なし。
- 131 多¹³¹色【大】 大正藏に校注なし。「多」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「色」(朱書)あり。
- 132 无¹³²無【大】 大正藏に校注なし。
- 133 之¹³³定【大】 大正藏に校注なし。
- 134 无¹³⁴無【大】 大正藏に校注なし。
- 135 无¹³⁵無【大】 大正藏に校注なし。
- 136 人¹³⁶天【大】 大正藏に校注なし。「人」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「天」(朱書)あり。
- 137 无¹³⁷無【大】 大正藏に校注なし。
- 138 如¹³⁸知【大】 大正藏に校注なし。
- 139 无¹³⁹無【大】 大正藏に校注なし。
- 140 无¹⁴⁰無【大】 大正藏に校注なし。

- 9 般若波羅蜜力故善觀結使斷令不生亦不因彼作業而受苦報徳得も涅槃平等之処名
- 10 之无為過一切算數智道不捨本願故遊戲
- 11 大慈已到慧方便彼岸已入仏神通力已能
- 12 善知分別諸想自己得度度未度者自己得
- 13 解解未解者自己得安未安者自己得涅槃使未得者得於涅槃生死无有二想是為
- 14 菩薩行諸法平等如涅槃
- 15 善男子云何菩薩善分別行相者若菩薩翹
- 16 勤精進求勝善法於甚深法門心入籌量清
- 17 淨通利分布慧明得大智明門以此大智明
- 18 門力故知一切衆生心行所趣捨說一一衆
- 19 生有八万四千諸行皆能了知所謂貪欲行
- 20 二万一千瞋恚行二万一千愚癡行二万一千
- 21 千等分行二万一千是為八万四千諸行一
- 22 衆生皆有是行若広説者則有无量行一

(第九紙) T13p102b14~

- 1 一行相門中知有八万四千諸根一一根門
- 2 中知有八万四千種差別解盡知諸行諸根
- 3 諸解差別相知所修習相云何知差別相
- 4 知此諸行諸根諸解是貪欲相是瞋恚相是
- 5 愚癡相是等分別是滅相是增相是住相是
- 6 達相是名知差別相云何知所修習相知
- 7 諸行諸根諸解无常相苦相无我相空相寂
- 8 滅相離相如実相涅槃相相自空相相自離

141 无無【大】 大正蔵に校注なし。

142 〔徳〕 - 【大】 大正蔵に校注なし。「徳」の中央に朱点あり。

143 〔至〕 + 【大】 大正蔵に校注なし。「得」の右下に「至」(朱書)あり。

144 无無【大】 大正蔵に校注なし。

145 无無【大】 大正蔵に校注なし。

146 「翹？」の右傍に「翹？」(朱書)あり。

147 捨總【大】 大正蔵に校注なし。

148 无無【大】 大正蔵に校注なし。

149 脩修【大】 大正蔵に校注なし。

150 別相【大】 大正蔵に校注なし。「別」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「相相」(朱書)あり。

151 滅減【大】 大正蔵に校注なし。

152 脩修【大】 大正蔵に校注なし。

153 无無【大】 大正蔵に校注なし。

154 无無【大】 大正蔵に校注なし。

- 9 相若能知如是等諸行諸根諸解如來成
- 10 就諸行¹⁵⁵无¹⁵⁶障礙智知一切衆生諸行諸根諸
- 11 解差別相菩薩亦次如來智知而不捨菩薩
- 12 所行教化衆生¹⁵⁷无¹⁵⁸有疲倦¹⁵⁹是名善分別行相
- 13 善男子云何菩薩持諸佛法寶藏者善男子
- 14 如來藏¹⁶⁰无¹⁶¹盡亦¹⁶²无¹⁶³量至一切処悦可一切衆
- 15 生如衆生諸行諸根諸解¹⁶⁴无¹⁶⁵量阿僧祇不可
- 16 思議不可稱不可量諸佛法寶藏¹⁶⁶无¹⁶⁷量阿僧
- 17 祇不可思議不可稱不可量亦復如是佛法
- 18 寶藏文字假令一切衆生如阿難等一切¹⁶⁸乃
- 19 至百劫不能受持誦誦能令通利除義所以
- 20 者何如來一切法寶藏唯一義所謂離欲
- 21 義寂滅義涅槃義若菩薩聞如來法寶藏已
- 22 隨力¹⁶⁹能¹⁷⁰所受受持誦誦通利善順正觀如所
- 23 受行菩薩入法藏門堅持思惟不依一切相
- 24 行則得陀羅尼門三昧門得陀羅尼門三昧

(第十紙) T13p102c10~

- 1 門已能持一如來法寶藏文字及義若二若
- 2 三若四若五若十¹⁷¹卅¹⁷²五十若百若干若
- 3 百千乃至¹⁷³无¹⁷⁴量¹⁷⁵无¹⁷⁶辺阿僧祇不可思議不可
- 4 稱不可量¹⁷⁷有量過諸量於一切諸佛法寶
- 5 藏心不散乱受持誦誦通利文字及義廣為
- 6 人說依義不依文淨意成就所聞¹⁷⁸諸¹⁷⁹法乃至
- 7 一句文義不失能淨¹⁸⁰辯¹⁸¹門善能巧說悦可衆心

155 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 156 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 157 倦||倦【大】 大正藏に校注なし。
 158 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 159 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 160 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 161 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 162 切||劫【大】 大正藏に校注なし。「切」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「劫」(朱書)あり。
 163 【能】一【大】
 164 卅卅卅||二十三十四十【大】 大正藏に校注なし。
 165 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 166 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 167 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 168 諸||說【大】
 169 「辯」の右傍に「辨」あり。

- 8 為諸仏所歎亦能降伏諸魔外道及供¹⁷⁰二宝
- 9 乃至不見一法異於法性不壞本際不動於
- 10 如來所覺了性法以知一切法性如來
- 11 所覺故乃至不見一法不入佛法者所以者
- 12 何如來知一切法性如幻¹⁷¹无¹⁷²成就故知一切
- 13 法性如野馬¹⁷³无¹⁷⁴所取故知一切法性如鏡中
- 14 象¹⁷⁵不至¹⁷⁶彼¹⁷⁷故知一切法性如夢不真實故知
- 15 一切法性如響從緣起故知一切法性空虛
- 16 无¹⁷⁸實故知一切法性¹⁷⁹无¹⁸⁰相¹⁸¹无¹⁸²分別故知一切
- 17 法性¹⁸³无¹⁸⁴願¹⁸⁵无¹⁸⁶發動故如來如實知一切法性
- 18 如是相菩薩如是知一切法性¹⁸⁷无¹⁸⁸性¹⁸⁹能持諸
- 19 佛法¹⁹⁰實¹⁹¹藏乃至一切非念非不念是為菩薩
- 20 持諸佛法寶藏
- 21 善男子云何菩薩分別衆生從始以來清淨
- 22 而教化衆生者若菩薩為教化一切衆生故
- 23 脩¹⁹²於大慈大悲時作如是思惟何等是衆生
- 24 作是念言此諸衆生但假名字顛倒虛假謂

(第十一紙) T13p103a06~

- 1 為衆生一切衆生本際清淨畢竟¹⁹³无¹⁹⁴生¹⁹⁵无¹⁹⁶起
- 2 但因虛妄愚癡故造種種業造種種業已受
- 3 无¹⁹⁷量憂悲苦恼喻如有人夢中劫盜他物為
- 4 王者所捉種種苦治夢作賊人虛妄憶想受

- 170 【養】+【大】 大正藏に校注なし。
- 171 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 172 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 173 象||像【大】 大正藏に校注なし。
- 174 【至】-【大】 大正藏に校注なし。
- 175 【此】+【大】 大正藏に校注なし。
- 176 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 177 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 178 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 179 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 180 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 181 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 182 性||生【大】 大正藏に校注なし。
- 183 實||寶【大】 大正藏に校注なし。「實」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「寶」(朱書)あり。
- 184 脩||修【大】 大正藏に校注なし。
- 185 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 186 无||無【大】 大正藏に校注なし。
- 187 无||無【大】 大正藏に校注なし。

- 5 諸苦惱作是念言我何時当得脱此苦惱是
- 6 人夢中寔¹⁹⁸无¹⁹⁸成就¹⁹⁸无¹⁹⁸所¹⁹⁸覺知一切凡夫及一
- 7 切諸法皆亦如夢¹⁹⁸无¹⁹⁸有¹⁹⁸覺知為顛倒所覆受
- 8 无¹⁹⁹量¹⁹⁹妄想憂悲苦惱亦復如是菩薩作是念
- 9 言是諸衆生我応令如寔覺知諸法使脱妄
- 10 想苦惱於諸衆生中亦不見衆生性而不捨
- 11 大悲教化衆生是為菩薩分別衆生從始以
- 12 來清淨而教化衆生善男子云何菩薩善順
- 13 發行成就仏法者若菩薩聞甚深微妙於諸
- 14 世間最勝仏法發大欲精進我応成就此甚
- 15 深微妙於諸世間最勝仏法如是善思惟分
- 16 別是何等法与何法相応是何等法知何等¹⁹⁹
- 17 法菩薩作是念言¹⁹⁹无¹⁹⁹有¹⁹⁹法与法相応者¹⁹⁹无¹⁹⁹有¹⁹⁹
- 18 法与法不相応者¹⁹⁹无¹⁹⁹有¹⁹⁹法知法者¹⁹⁹无¹⁹⁹有¹⁹⁹法不
- 19 知法者此諸法性鈍性¹⁹⁹无¹⁹⁹性故是一切法從
- 20 因縁生¹⁹⁹有¹⁹⁹定主而能随意莊嚴有種種果
- 21 報相諸法¹⁹⁹无¹⁹⁹性故布施是莊嚴宝蔵大富相
- 22 布施得大富不離因故布施不知大富大富
- 23 不能知施持戒是莊嚴生天相持戒得生天
- 24 不離因故多聞是莊嚴智慧相多聞得智慧

(第十一紙) T13p103a29~

- 1 不離因故思惟是莊嚴断結相思惟得断結
- 2 不離因故思惟不能知断結断結不能知思
- 3 惟菩薩如是憶念諸法²⁰⁰无²⁰⁰主²⁰⁰能莊嚴相是故
- 4 布施已迴向薩婆若成就檀波羅蜜行是菩

188 无¹⁸⁸无¹⁸⁸【大】 大正蔵に校注なし。

189 无¹⁸⁹无¹⁸⁹【大】 大正蔵に校注なし。

190 无¹⁹⁰无¹⁹⁰【大】 大正蔵に校注なし。

191 无¹⁹¹无¹⁹¹【大】 大正蔵に校注なし。

192 【等】一【大】

193 无¹⁹³无¹⁹³【大】 大正蔵に校注なし。

194 无¹⁹⁴无¹⁹⁴【大】 大正蔵に校注なし。

195 无¹⁹⁵无¹⁹⁵【大】 大正蔵に校注なし。

196 无¹⁹⁶无¹⁹⁶【大】 大正蔵に校注なし。

197 无¹⁹⁷无¹⁹⁷【大】 大正蔵に校注なし。

198 无¹⁹⁸无¹⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。

199 无¹⁹⁹无¹⁹⁹【大】 大正蔵に校注なし。

200 无²⁰⁰无²⁰⁰【大】 大正蔵に校注なし。

201 主²⁰¹无²⁰¹【大】 大正蔵に校注なし。

- 5 薩檀波羅蜜則能具足佛法持戒迴向薩婆
- 6 若成就尸波羅蜜行是菩薩尸波羅蜜則能
- 7 具足佛法脩²⁰²羸提波羅蜜迴向薩婆若成就
- 8 羸提波羅蜜行是菩薩羸提波羅蜜則能具
- 9 足佛法毘毘梨²⁰³迴向薩婆若成就毘梨²⁰⁴邪
- 10 波羅蜜行是菩薩毘梨²⁰⁵波羅蜜則能具足
- 11 佛法入禪定迴向薩婆若成就禪波羅蜜行
- 12 是菩薩禪波羅蜜則能具足佛法淨般若迴
- 13 向薩婆若成就般若波羅蜜行是菩薩般若
- 14 波羅蜜則能具足佛法菩薩如是善順行時
- 15 不見一法²⁰⁶因²⁰⁷緣而生者亦不着因緣自
- 16 善順入一切法如我²⁰⁸生²⁰⁹起一切法²¹⁰无²¹¹生
- 17 起亦復如是如我空一切法空亦復如是
- 18 如我離一切法離亦復如是知一切法入平
- 19 等如性非作非不作是為菩薩善順發行成
- 20 就佛法
- 21 善男子云何菩薩不退諸通於諸佛法悉得
- 22 自在者若菩薩戒身真淨心定不動得大智
- 23 光明已成就福德智慧資糧已到諸波羅蜜
- 24 彼岸已成就四攝已脩²¹²四梵行已脩²¹³欲進念

(第十一紙) T13p103b25~

- 1 慧定以善脩²¹⁴四神足故得五神通諸菩薩本
- 2 業淨故勤進不廢捨故常不散乱行故善伏
- 3 結使故離念声聞辟支心故受持方便故
- 4 攀緣上地諸法故²¹⁵无²¹⁶我²¹⁷依行故是以菩薩

202 脩=修【大】 大正藏に校注なし。
 203 邪=耶【大】 大正藏に校注なし。
 204 邪=耶【大】 大正藏に校注なし。
 205 邪=耶【大】 大正藏に校注なし。
 206 无=無【大】 大正藏に校注なし。
 207 无=無【大】 大正藏に校注なし。
 208 无=無【大】 大正藏に校注なし。
 209 无=無【大】 大正藏に校注なし。
 210 无=無【大】 大正藏に校注なし。
 211 无=無【大】 大正藏に校注なし。
 212 脩=修【大】 大正藏に校注なし。
 213 脩=修【大】 大正藏に校注なし。
 214 脩=修【大】 大正藏に校注なし。
 215 无=無【大】 大正藏に校注なし。

- 5 不退諸通是故諸菩薩究竟知諸法无²¹⁷退知
- 6 諸法与法性等无²¹⁸有變異如虛空无²¹⁹變是為
- 7 菩薩不退諸通於諸佛法悉得自在
- 8 善男子云何菩薩入甚深法門諸声聞辟支
- 9 仏所不能入者若菩薩入甚深因縁法知逆
- 10 順因縁法善知出離知²²⁰滅²²¹、滅知集集²²²知盡
- 11 善知衆生以何因縁故受垢離垢捨²²³得淨乃
- 12 至不見一法有垢有淨知一切法性相清淨
- 13 亦不得清淨法相以我甚深故知一切法甚
- 14 深以我離故知一切法離以我无²²⁴二故知一
- 15 切法无²²⁵二以眼色二俱離故乃至意法亦離
- 16 則入第一義以世諦故仮名諸法亦不執着
- 17 真諦世諦是為菩薩入甚深法門諸声聞辟
- 18 支仏所不能入善男子云何菩薩於十二因
- 19 縁善得勝智方便離二辺諸見者若菩薩知
- 20 一切縁生法属他²²⁶他所撰属因属縁属和合属
- 21 所由此²²⁷諸法皆從境界縁生各有所因各
- 22 有所依諸法各各无²²⁸相分別譬如外諸菓草
- 23 菓²²⁹林及諸樹木等皆无²³⁰諸根无²³¹記无²³²知依諸
- 24 大故便得增長各各无²³³相分別内外²³⁴諸法亦

(第十四紙) T13p103c20~

- 216 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 217 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 218 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 219 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 220 〔生〕+【大】 大正蔵に校注なし。「知」の右下に「生」(朱書)あり。
- 221 〔滅〕-【大】 大正蔵に校注なし。「滅」の中央に朱点あり。「知」(朱書)あり。
- 222 〔知〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 223 〔集〕-【大】 大正蔵に校注なし。「集」の中央に朱点あり。
- 224 〔淨〕+【大】
- 225 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 226 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 227 〔他〕-【大】
- 228 此=所謂【大】
- 229 无=九【大】
- 230 藜=叢【大】 大正蔵に校注なし。
- 231 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 232 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 233 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 234 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 235 外=有【大】

- 1 復如是依造業增長一切諸法**无**²³⁸我人衆生
- 2 壽命亦**无**²³⁷作者受者諸法生時**无**²³⁸能生者滅
- 3 時**无**²³⁹能滅者菩薩作是念言是諸緣生法各
- 4 **无**²⁴⁰自性**无**²⁴¹自性者他不能生所因亦**无**²⁴²性所
- 5 緣亦**无**²⁴³性**无**²⁴⁴自性者則**无**²⁴⁵他性若法**无**²⁴⁶自性
- 6 他性者則**无**²⁴⁷生**无**²⁴⁸能生未生不可生已生亦
- 7 不生若未生非未生不生者則究竟**无**²⁴⁹生**无**²⁵⁰
- 8 能生是故一切諸法皆**无**²⁵¹生**无**²⁵²起但以名字
- 9 故仮名從因緣生而実**无**²⁵³生亦**无**²⁵⁴断**无**²⁵⁵常所
- 10 以者何若法有生性者則当有滅則是断見
- 11 若**无**²⁵⁶滅者即有常見離断常見故当知一切
- 12 諸法皆**无**²⁵⁷有生是為菩薩於十二因緣善得
- 13 勝智方便離二辺諸見善男子云何菩薩為
- 14 如来印所印如如不分別智方便者若菩薩
- 15 於甚深法得現前知見力離一切倚着過諸
- 16 戲論得**无**²⁵⁸終**无**²⁵⁹始**无**²⁶⁰生法忍如来盡知諸菩
- 17 薩所成就根已以如来印印之所謂受決定
- 18 二菩提記是如来印**无**²⁶¹錯**无**²⁶²謬**无**²⁶³諸障礙**无**²⁶⁴

236 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 237 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 238 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 239 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 240 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 241 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 242 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 243 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 244 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 245 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 246 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 247 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 248 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 249 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 250 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 251 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 252 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 253 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 254 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 255 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 256 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 257 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 258 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 259 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 260 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 261 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

- 19 諍競不可**沮**²⁶⁵ **壞**²⁶⁶ **无**²⁶⁷ 能非者**无**²⁶⁷ 能發印者得如
- 20 來印願行成就智水所灌菩薩為如是印所
- 21 印所謂究竟**无**²⁶⁸ **生**²⁶⁹ **无**²⁷⁰ 起印空印**无**²⁷¹ 相印**无**²⁷¹ 願
- 22 印離染印寂滅印涅槃印菩薩智行成就不
- 23 壞如性不變法界不離本際於諸法中不見
- 24 上中下黑白等差別菩薩亦見一切衆生為

(第十五紙) T13p104a15~

- 1 此印之所印**无**²⁷² 憶想分別不捨本大誓願是
- 2 為菩薩為如來印所印如如不分別智方便
- 3 善男子云何菩薩入法界性門見一切法平
- 4 等性若菩薩見諸法界**无**²⁷³ 処不至**无**²⁷⁴ 來**无**²⁷⁵ 去
- 5 **无**²⁷⁶ **生**²⁷⁷ **无**²⁷⁸ **滅**²⁷⁹ **无**²⁸⁰ **相**²⁸¹ **无**²⁸² **起**²⁸³ **无**²⁸⁴ **戲**²⁸⁵ **无**²⁸⁶ 行菩薩作如是
- 6 思惟此諸法等皆同法界如法界是離欲界
- 7 離塵垢界故是**无**²⁸⁷ 生界不可作故是**无**²⁸⁸ 滅界
- 8 **无**²⁸⁹ 滅盡故是**无**²⁹⁰ 來界不入根門故是**无**²⁹¹ 去界
- 9 **无**²⁹² 所至故是不可安界**无**²⁹³ 形質故是**无**²⁹⁴ 巢窟

262 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 263 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 264 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 265 沮=沮【大】 大正蔵に校注なし。
 266 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 267 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 268 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 269 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 270 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 271 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 272 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 273 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 274 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 275 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 276 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 277 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 278 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 279 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 280 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 281 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 282 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 283 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 284 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 285 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 286 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 287 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 288 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

- 10 界**无**²⁹¹ 依止故是真實界三**場**²⁹² 分斷故此法界
- 11 中**无**²⁹³ 眼界**无**²⁹⁴ 色界**无**²⁹⁵ 眼識界如法界一切法
- 12 界亦如是是故名一切法入於法界乃至**无**²⁹⁶
- 13 意界法界意識界如法界一切法亦如是是
- 14 故名一切法入於法界是菩薩知一切法入
- 15 於法界知地界法界**无**²⁹⁷ **无**²⁹⁸ 別水界火界風
- 16 界法界亦**无**²⁹⁹ **无**³⁰⁰ 別欲界法界亦平等**无**³⁰¹ **无**³⁰²
- 17 **无**³⁰² 別色界**无**³⁰³ 色界有為界**无**³⁰⁴ 為界法界亦平
- 18 等**无**³⁰⁵ **无**³⁰⁶ 別如是知**无**³⁰⁷ 心境界及覺是為菩
- 19 薩入法界性門見一切法平等性
- 20 善男子云何菩薩淳至堅固喻如金剛心住
- 21 不動於此大乘者若菩薩以**真**³⁰⁸ 心行成就淨
- 22 淳至以不退畢竟不**滅**³⁰⁹ 勤進以**无**³¹⁰ 礙大慈以
- 23 **无**³¹¹ **倦**³¹² 大悲以普至方便得成就真實觀慧如
- 24 **是**³¹³ 等法皆悉成就菩薩見一切衆生有垢有

(第十六紙) T13p104b11~

- 1 濁凡愚僞獮拒逆不順是故菩薩為教化一
- 2 切群生故不廢精進見此生死有**无**³¹⁴ 量過患

289 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 290 巢**无**【大】
 291 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 292 場**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 293 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 294 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 295 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 296 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 297 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 298 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 299 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 300 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 301 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 302 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 303 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 304 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 305 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 306 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 307 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 308 真**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 309 滅**无**【大】 「真」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「直」あり。
 310 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 311 无**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 312 倦**无**【大】 大正蔵に校注なし。
 313 如是**无**【大】 大正蔵に校注なし。

- 3 憂悲苦惱等不退於來際莊嚴亦解无³¹⁵量^{无³¹⁶}
- 4 迦阿僧祇諸佛法為成就難集難持難滿諸
- 5 佛法故種種善根而能入如來无³¹⁷量法寶藏
- 6 衆生性无³¹⁸量故法性^{无³¹⁹量故虛空性^{无³²⁰量故}}
- 7 為受持一切如來法寶藏故不捨精進聞一
- 8 切法空无³²¹相^{无³²²願^{无³²³作^{无³²⁴生^{无³²⁵起解了分別}}}}
- 9 觀行身證成就未具足佛法終不中道證於
- 10 實際善入諸禪解脫三昧亦不厭離欲界而
- 11 現受生已離陰界諸入无³²⁶形^{无³²⁷色^{无³²⁸行而隨}}
- 12 衆生性隨意示現種種形色而為說法轉善
- 13 薩輪示大涅槃亦不捨菩薩行入如是不思
- 14 議法門知一切法无³²⁹性相不動不壞不散於
- 15 此大乘不退轉如金剛寶珠能監³³⁰余寶余寶
- 16 无³³¹能監³³²此珠者諸菩薩亦復如是能以声聞
- 17 辟支仏乗度无³³³量^{无³³⁴辺衆生令入涅槃而自}
- 18 不滅度亦不退究竟大乘是為菩薩淳至堅
- 19 固猶如金剛心住不動於此大乘善男子云
- 20 何菩薩自淨其界如諸仏界者若菩薩知一
- 21 切法无³³⁵界^{无³³⁶作^{界至一切処^{无³³⁸至^{无³³⁹不至若}}}}

314 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 315 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 316 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 317 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 318 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 319 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 320 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 321 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 322 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 323 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 324 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 325 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 326 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 327 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 328 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 329 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 330 監||鑑【大】 大正蔵に校注なし。 「監」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「鑒」（朱書）あり。
 331 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 332 監||鑑【大】 大正蔵に校注なし。 「監」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「鑒」（朱書）あり。
 333 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 334 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 335 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 336 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 337 作||非【大】 大正蔵に校注なし。
 338 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 22 菩薩見法対³⁴⁹六情皆知是仏法亦不見凡夫
- 23 法仏法有異作是念此一切法皆是仏法仏
- 24 法至一切処故一切諸法及仏法但仮名字

(第十七紙) T13p104c06~

- 1 亦非是法亦非非法是故我等不応取着以
- 2 自界浄故知諸仏界浄此法与平等眼界
- 3 是仏界耳鼻舌身意法界是仏界我不応分
- 4 別有尊有卑菩薩如是至一切法平等界是
- 5 為菩薩自浄其界如諸仏界
- 6 善男子云何菩薩得陀羅尼終不失念者若
- 7 菩薩已得成就陀羅尼行云何陀羅尼行善
- 8 男子陀羅尼行有卅³⁴¹二何等卅³⁴²二脩³⁴³於涅槃³⁴⁴
- 9 為陀羅尼故脩³⁴⁵於欲法脩³⁴⁶於尊法脩³⁴⁷於向法
- 10 脩³⁴⁸敬仰法脩³⁴⁹於樂法脩³⁵⁰求法无³⁵¹厭脩³⁵²親近供
- 11 養多聞智慧者脩³⁵³於和上阿闍梨所无³⁵⁴憍慢
- 12 心尊重給侍脩³⁵⁵如来教誨无³⁵⁶所拒逆脩³⁵⁷於説
- 13 法人所生世尊想不求其短脩³⁵⁸於受持正法
- 14 開示解説脩³⁵⁹所得法无³⁶⁰所恪惜脩³⁶¹无³⁶²希望³⁶³而

³³⁹ 无二無一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁰ 対二発一【大】
³⁴¹ 卅二三十一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴² 卅二三十一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴³ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁴ 涅槃二得法一【大】 大正蔵に校注なし。「涅槃」の右傍に「得?・」(朱書)あり。「槃」の中央に見せ消
³⁴⁵ ち(朱点)あり、右傍に「法」(朱書)あり。
³⁴⁶ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁷ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁸ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁹ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵⁰ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵¹ 无二無一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵² 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵³ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵⁴ 无二無一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵⁵ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵⁶ 无二無一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵⁷ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵⁸ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁵⁹ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁶⁰ 无二無一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁶¹ 脩二修一【大】 大正蔵に校注なし。
³⁶² 无二無一【大】 大正蔵に校注なし。

- 15 行法施脩³⁶⁴ 求智慧根栽脩³⁶⁵ 如所聞法善順思
- 16 惟脩³⁶⁶ 於諸法堅固受持脩³⁶⁷ 於梵行无³⁶⁸ 有休息
- 17 脩³⁶⁹ 樂遠離行阿練若行脩³⁷⁰ 心常寂靜脩³⁷¹ 勤行
- 18 諸念脩³⁷² 順行六和敬脩³⁷³ 於諸長宿无³⁷⁴ 調慢行
- 19 脩³⁷⁵ 於一切衆生中生无³⁷⁶ 礙心脩³⁷⁷ 緣生法得脩³⁷⁸
- 20 順忍脩³⁷⁹ 二脱門正觀心无³⁸⁰ 驚怖脩³⁸¹ 四聖種順
- 21 行不驚疑脩³⁸² 勤受持諸仏正法脩³⁸³ 為衆生行
- 22 於大慈脩³⁸⁴ 受持正法不惜身命脩³⁸⁵ 大智行不
- 23 生憍慢脩³⁸⁶ 常教化衆生而无³⁸⁷ 厭倦³⁸⁸ 善男子是
- 24 為卅³⁸⁹ 二種脩³⁹⁰ 陀羅尼行菩薩脩³⁹¹ 已得如是陀

(第十八紙) T13p105a01~

- 1 羅尼門以得是陀羅尼門故能捨³⁹² 持一切諸
- 2 仏所説不忘不失陀羅尼者所謂於如所聞
- 3 法不忘不失以念而念以意分別以進能覺

- 363 希||悽【大】 大正蔵に校注なし。
- 364 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 365 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 366 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 367 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 368 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 369 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 370 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 371 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 372 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 373 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 374 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 375 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 376 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 377 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 378 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 379 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 380 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 381 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 382 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 383 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 384 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 385 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 386 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 387 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 388 倦||倦【大】 大正蔵に校注なし。
- 389 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。
- 390 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 391 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 392 捨||總【大】 大正蔵に校注なし。

- 4 於諸文字入**无**³⁹³ **彼岸**³⁹⁴ 於諸言音隨類善解言
- 5 辭辯說**无**³⁹⁵ 有滯礙於不了義經善能進入於
- 6 了義經進入微覺於世諦有分別智於第一
- 7 義諦知**无**³⁹⁶ 言說於諸諦有分別智於四念処
- 8 有不忘智於四正勤等**无**³⁹⁷ 壞智於四神足有
- 9 遊戲智於諸根門有差別智於諸力中得**无**³⁹⁸
- 10 勝智於七覺分覺一切法如性智於八聖道
- 11 **无**³⁹⁹ 退没智於定法中得善住心於慧法中得
- 12 遍至智於明解脱得隨順智於諸辯中得深
- 13 入智於諸神通得生起智於諸波羅蜜得分
- 14 別智於四攝法得方便智於講法処授不及
- 15 智於諸經義得**无**⁴⁰⁰ 分別智於諸文字得**无**⁴⁰¹ 盡
- 16 智於一切衆生得称足智隨所受解得説法
- 17 智於一切文字得所因**辨**⁴⁰² 智於一切垢淨得
- 18 如**実觀**⁴⁰³ 智於一切法得**无**⁴⁰⁴ 障礙**礙**⁴⁰⁵ 明智是為陀
- 19 羅尼得陀羅尼平等心者去離憎愛能堪受
- 20 法雨断一切結使熱惱順諸助道法是為陀
- 21 羅尼菩薩住此陀羅尼故常行**无**⁴⁰⁶ 失是為菩
- 22 薩得陀羅尼終不失念善男子云何菩薩得
- 23 **无**⁴⁰⁷ 障礙如來加持辯者若菩薩善淨淳至善
- 24 護戒衆拔諸慢根離彼我想諸仏世尊知如

(第十九紙) T13p105a25~

- 1 是菩薩是大法器令持正法以仏神力及自
- 2 善根力故得捷辯得疾辯得**无**⁴⁰⁸ 礙辯得**无**⁴⁰⁹ 滯辯

393 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 394 岸||崖【大】 大正蔵に校注なし。
 395 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 396 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 397 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 398 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 399 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 400 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 401 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 402 辨||辯【大】 大正蔵に校注なし。 「辨」の右傍に「辯」あり。
 403 觀||覺【大】 大正蔵に校注なし。
 404 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 405 礙||翳【大】 大正蔵に校注なし。
 406 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 407 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 408 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 3 得巧說辯得甚深辨⁴¹⁰得衆音具足辯得善
- 4 莊嚴辯得无⁴¹¹滅⁴¹²辯得无⁴¹³畏辯得妙偈讚辯得
- 5 快說脩⁴¹⁴多羅辯得善說譬喻本緣辯得无⁴¹⁵壞
- 6 勝辯得分別句无⁴¹⁶盡辯得円足辯得威徳无⁴¹⁷
- 7 違辯得説法不唐捐辯得断衆疑辯得利応
- 8 辯得分別文字辯得⁴¹⁸不錯謬辯得悦可衆辯
- 9 得問答方便辯得以法降伏一切外道辯已
- 10 成就如是等⁴¹⁹廿⁴²⁰四辯此諸辯脩⁴²¹行⁴²²廿⁴²³四種因
- 11 故能得成就何等⁴²⁴廿⁴²⁵四善男子若菩薩不違
- 12 逆師長教故能得捷辯不詔曲故能得疾辯
- 13 捨離煩惱故得无⁴²⁶礙辯无⁴²⁷我行故得无⁴²⁸滯辯
- 14 離両舌故得巧説辯入因縁法无⁴²⁹際故得甚
- 15 深辯行種種施故得衆音具足辯嚴飾如來
- 16 塔廟故得善莊嚴辯不捨菩提心故得无⁴³⁰滅
- 17 辯善護誠衆故得无⁴³¹畏辯施種種⁴³²惱⁴³³華蓋
- 18 宝鈴故得妙偈讚辯恭敬供養給侍諸尊及
- 19 師長故得快説脩⁴³⁴多羅辯昔殖脩⁴³⁵習无⁴³⁶量善根
- 20 故得善説譬喻本緣辯不輕賤惡趣衆生故
- 21 得无⁴³⁷壞勝辯施无⁴³⁸量宝蔵故得分別句无⁴³⁹盡

- 409 无⁴⁰⁹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 410 辨⁴¹⁰無【大】 大正蔵に校注なし。「辨」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「辯」（朱書）あり。
- 411 无⁴¹¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 412 滅⁴¹²無【大】 大正蔵に校注なし。「滅」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「滅」（朱書）あり。
- 413 无⁴¹³無【大】 大正蔵に校注なし。
- 414 脩⁴¹⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
- 415 无⁴¹⁵無【大】 大正蔵に校注なし。
- 416 无⁴¹⁶無【大】 大正蔵に校注なし。
- 417 无⁴¹⁷無【大】 大正蔵に校注なし。
- 418 【辯得】一【大】 大正蔵に校注なし。
- 419 廿⁴¹⁹二十【大】 大正蔵に校注なし。
- 420 脩⁴²⁰修【大】 大正蔵に校注なし。
- 421 廿⁴²¹二十【大】 大正蔵に校注なし。
- 422 廿⁴²²二十【大】 大正蔵に校注なし。
- 423 无⁴²³無【大】 大正蔵に校注なし。
- 424 无⁴²⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
- 425 无⁴²⁵無【大】 大正蔵に校注なし。
- 426 无⁴²⁶無【大】 大正蔵に校注なし。
- 427 无⁴²⁷無【大】 大正蔵に校注なし。
- 428 无⁴²⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
- 429 惱⁴²⁹幢【大】 大正蔵に校注なし。「惱」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「幢」（朱書）あり。
- 430 惱⁴³⁰幡【大】 大正蔵に校注なし。
- 431 脩⁴³¹修【大】 大正蔵に校注なし。
- 432 脩⁴³²修【大】 大正蔵に校注なし。
- 433 无⁴³³無【大】 大正蔵に校注なし。

- 22 辯真実言説⁴²⁵无⁴²⁵ 龜獮故得⁴²⁵ 円足辯講說法時
- 23 无⁴²⁶ 諍競故得⁴²⁶ 威德⁴²⁶ 无⁴²⁶ 違辯以⁴²⁶ 德淳淨順法律
- 24 行故得⁴²⁶ 說法不唐捐⁴²⁶ 辯不⁴²⁶ 悵⁴²⁶ 於⁴²⁶ 法不恃⁴²⁶ 己德
- 25 故得⁴²⁶ 断衆疑⁴²⁶ 辯求⁴²⁶ 法之時不威逼⁴²⁶ 他生恭敬

(第十一十紙) T13p105b21~

- 1 心故得⁴²⁶ 利⁴²⁶ 心⁴²⁶ 辯常省⁴²⁶ 己過不譏⁴²⁶ 彼缺⁴²⁶ 故得⁴²⁶ 分
- 2 別文字不⁴²⁶ 錯⁴²⁶ 謬⁴²⁶ 辯等⁴²⁶ 潤⁴²⁶ 衆生不望⁴²⁶ 報⁴²⁶ 故得⁴²⁶ 悅
- 3 可⁴²⁶ 衆⁴²⁶ 辯⁴²⁶ 受⁴²⁶ 持⁴²⁶ 大乘不⁴²⁶ 求⁴²⁶ 小⁴²⁶ 乘⁴²⁶ 故得⁴²⁶ 問⁴²⁶ 答⁴²⁶ 方⁴²⁶ 便
- 4 辯不⁴²⁶ 着⁴²⁶ 我⁴²⁶ 見⁴²⁶ 入⁴²⁶ 平⁴²⁶ 等⁴²⁶ 性⁴²⁶ 故得⁴²⁶ 以⁴²⁶ 法⁴²⁶ 降⁴²⁶ 伏⁴²⁶ 一⁴²⁶ 切
- 5 外道⁴²⁶ 辯⁴²⁶ 是⁴²⁶ 名⁴²⁶ 廿⁴²⁶ 四⁴²⁶ 種⁴²⁶ 成⁴²⁶ 就⁴²⁶ 諸⁴²⁶ 辯⁴²⁶ 因⁴²⁶ 善⁴²⁶ 能⁴²⁶ 隨⁴²⁶ 彼
- 6 衆生所⁴²⁶ 心⁴²⁶ 受⁴²⁶ 解⁴²⁶ 說⁴²⁶ 法⁴²⁶ 无⁴²⁶ 有⁴²⁶ 錯⁴²⁶ 謬⁴²⁶ 所⁴²⁶ 受⁴²⁶ 法⁴²⁶ 者⁴²⁶ 亦
- 7 不⁴²⁶ 退⁴²⁶ 失⁴²⁶ 是⁴²⁶ 為⁴²⁶ 菩⁴²⁶ 薩⁴²⁶ 得⁴²⁶ 无⁴²⁶ 障⁴²⁶ 礙⁴²⁶ 如⁴²⁶ 來⁴²⁶ 加⁴²⁶ 持⁴²⁶ 辯
- 8 善⁴²⁶ 男⁴²⁶ 子⁴²⁶ 云⁴²⁶ 何⁴²⁶ 菩⁴²⁶ 薩⁴²⁶ 得⁴²⁶ 自⁴²⁶ 在⁴²⁶ 示⁴²⁶ 現⁴²⁶ 受⁴²⁶ 生⁴²⁶ 死⁴²⁶ 者⁴²⁶ 若
- 9 菩⁴²⁶ 薩⁴²⁶ 成⁴²⁶ 就⁴²⁶ 十⁴²⁶ 二⁴²⁶ 法⁴²⁶ 得⁴²⁶ 自⁴²⁶ 在⁴²⁶ 示⁴²⁶ 現⁴²⁶ 受⁴²⁶ 生⁴²⁶ 死⁴²⁶ 何⁴²⁶ 等
- 10 十⁴²⁶ 二⁴²⁶ 親⁴²⁶ 近⁴²⁶ 真⁴²⁶ 善⁴²⁶ 知⁴²⁶ 識⁴²⁶ 故⁴²⁶ 消⁴²⁶ 除⁴²⁶ 我⁴²⁶ 見⁴²⁶ 故⁴²⁶ 成⁴²⁶ 就⁴²⁶ 戒
- 11 身⁴²⁶ 故⁴²⁶ 善⁴²⁶ 知⁴²⁶ 入⁴²⁶ 出⁴²⁶ 定⁴²⁶ 故⁴²⁶ 並⁴²⁶ 脩⁴²⁶ 智⁴²⁶ 慧⁴²⁶ 方⁴²⁶ 便⁴²⁶ 故⁴²⁶ 善⁴²⁶ 知
- 12 深⁴²⁶ 入⁴²⁶ 諸⁴²⁶ 通⁴²⁶ 遊⁴²⁶ 戲⁴²⁶ 故⁴²⁶ 如⁴²⁶ 実⁴²⁶ 觀⁴²⁶ 知⁴²⁶ 諸⁴²⁶ 法⁴²⁶ 无⁴²⁶ 生⁴²⁶ 无⁴²⁶ 起⁴²⁶
- 13 故⁴²⁶ 淨⁴²⁶ 本⁴²⁶ 願⁴²⁶ 種⁴²⁶ 故⁴²⁶ 常⁴²⁶ 不⁴²⁶ 捨⁴²⁶ 大⁴²⁶ 慈⁴²⁶ 大⁴²⁶ 悲⁴²⁶ 故⁴²⁶ 知⁴²⁶ 一⁴²⁶ 切
- 14 法⁴²⁶ 如⁴²⁶ 幻⁴²⁶ 化⁴²⁶ 故⁴²⁶ 知⁴²⁶ 一⁴²⁶ 切⁴²⁶ 法⁴²⁶ 如⁴²⁶ 夢⁴²⁶ 想⁴²⁶ 故⁴²⁶ 一⁴²⁶ 切⁴²⁶ 諸⁴²⁶ 仏
- 15 如⁴²⁶ 威⁴²⁶ 神⁴²⁶ 故⁴²⁶ 是⁴²⁶ 為⁴²⁶ 菩⁴²⁶ 薩⁴²⁶ 成⁴²⁶ 就⁴²⁶ 十⁴²⁶ 二⁴²⁶ 法⁴²⁶ 无⁴²⁶ 生⁴²⁶ 現⁴²⁶ 生
- 16 无⁴²⁶ 起⁴²⁶ 現⁴²⁶ 起⁴²⁶ 而⁴²⁶ 現⁴²⁶ 一⁴²⁶ 切⁴²⁶ 生⁴²⁶ 死⁴²⁶ 於⁴²⁶ 一⁴²⁶ 切⁴²⁶ 諸⁴²⁶ 仏⁴²⁶ 大⁴²⁶ 会
- 17 示⁴²⁶ 現⁴²⁶ 其⁴²⁶ 身⁴²⁶ 在⁴²⁶ 在⁴²⁶ 仏⁴²⁶ 国⁴²⁶ 皆⁴²⁶ 現⁴²⁶ 受⁴²⁶ 生⁴²⁶ 而⁴²⁶ 常⁴²⁶ 不⁴²⁶ 動⁴²⁶ 於

- 434 无⁴³⁴ 无⁴³⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 435 无⁴³⁵ 无⁴³⁵ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 436 无⁴³⁶ 无⁴³⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 437 无⁴³⁷ 无⁴³⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 438 无⁴³⁸ 无⁴³⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 439 德⁴³⁹ 二⁴³⁹ 儀⁴³⁹ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 440 无⁴⁴⁰ 无⁴⁴⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 441 悵⁴⁴¹ 二⁴⁴¹ 吝⁴⁴¹ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 442 廿⁴⁴² 二⁴⁴² 十⁴⁴² 【大】 大正蔵に校注なし。
- 443 无⁴⁴³ 无⁴⁴³ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 444 无⁴⁴⁴ 无⁴⁴⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 445 脩⁴⁴⁵ 二⁴⁴⁵ 修⁴⁴⁵ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 446 觀⁴⁴⁶ 二⁴⁴⁶ 親⁴⁴⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 447 无⁴⁴⁷ 无⁴⁴⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 448 无⁴⁴⁸ 无⁴⁴⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 449 如⁴⁴⁹ 二⁴⁴⁹ 加⁴⁴⁹ 【大】 大正蔵に校注なし。「如」の右傍に「加」あり。
- 450 无⁴⁵⁰ 无⁴⁵⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 451 无⁴⁵¹ 无⁴⁵¹ 【大】 大正蔵に校注なし。

- 18 真法身是為菩薩得自在示現受生死也善
- 19 男子云何菩薩破諸怨敵去離四魔者若菩
- 20 薩翹勤脩（朱）習觀五陰如幻得離陰魔觀諸法
- 21 性淨故得離煩惱魔觀一切法從緣生性不
- 22 成就故得離死魔觀一切法緣所莊嚴是（朱）

(第十一紙) T13p105c15~

- 1 常敗壞相故得離天魔菩薩如是觀故得離
- 2 四魔發趣菩提終不懈怠（朱）所有障菩提魔業
- 3 菩薩皆能遠離何謂魔業所謂心向小乘是
- 4 為魔業不護菩提心是為魔業於衆生身異
- 5 想是為魔業行施望報是為魔業為受生故
- 6 持戒是為魔業有色想行忍是為魔業為世
- 7 事精進是為魔業於禪生着味想是為魔業
- 8 於慧生戲論是為魔業厭倦（朱）生死是為魔業
- 9 作諸善根而不迴向是為魔業厭惡煩惱是
- 10 為魔業犯罪覆藏是為魔業增（朱）嫉菩薩是為
- 11 魔業誹謗正法是為魔業不受正法是為魔
- 12 業不知報恩是為魔業不進求諸波羅蜜是
- 13 為魔業不敬順法是為魔業憍（朱）惜於法是為
- 14 魔業為利養說法是為魔業不知方便而化
- 15 衆生是為魔業捨四攝法是為魔業輕毀禁
- 16 者是為魔業嫉持戒者是為魔業学二乘行
- 17 是為魔業希（朱）望正位是為魔業捨離大慈而
- 18 觀无（朱）生是為魔業欲證无（朱）為法是為魔業厭
- 19 離有為功德是為魔業不愍衆生是為魔業
- 20 不謙下尊長是為魔業習行兩舌是為魔業
- 21 偷（朱）諂多（朱）奸（朱）是為魔業顯己淨行是為魔業作

452 脩（朱）修（朱） 大正蔵に校注なし。
 453 无（朱）無（朱） 大正蔵に校注なし。
 454 怠（朱）息（朱） 大正蔵に校注なし。
 455 倦（朱）倦（朱） 大正蔵に校注なし。
 456 增（朱）憎（朱） 大正蔵に校注なし。「増」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「憎」（朱書）あり。
 457 悋（朱）悋（朱） 大正蔵に校注なし。
 458 希（朱）悋（朱） 大正蔵に校注なし。
 459 无（朱）無（朱） 大正蔵に校注なし。
 460 无（朱）無（朱） 大正蔵に校注なし。
 461 偷（朱）諂（朱） 大正蔵に校注なし。
 462 奸（朱）姦（朱） 大正蔵に校注なし。

22 惡不恥是為魔業不流布法是為魔業以少
23 德為足是為魔業不遮結使是為魔業不捨

(第二十二紙) T13p106a09~

- 1 心垢是為魔業忍沙門垢是為魔業善男子
- 2 若親近行一切不善法遠離一切善法盡是
- 3 魔業善男子是謂諸魔業行是業者障菩提
- 4 道彼諸菩薩已過捨離能正受行故云何為
- 5 正受行若菩薩成就四法能正受行何等為
- 6 四一者於諸波羅蜜法无懈怠行二者不捨
- 7 欲進及不放逸三者正住方便大慈法中四
- 8 者入甚深无愛无巢窟法門善男子菩薩成
- 9 就此四法正受行故能破諸怨敵是為菩薩
- 10 能破諸怨去離四敵
- 11 善男子云何菩薩莊嚴功德資糧利益衆生
- 12 者若菩薩善根迴向无等等若有所種善
- 13 根若布施若愛語若利益若同事盡以施与
- 14 一切衆生以淨戒衆故得自在力用此自在
- 15 力故隨諸衆生所心愛樂而度化之以種功
- 16 徳无厭故得无盡宝手用此无盡宝手能施
- 17 衆生无量富樂以求无辺智慧資糧故得无
- 18 礙陀羅尼辯用此无礙陀羅尼辯能捨持一
- 19 切諸仏所説能説妙法悅可衆心以善調身
- 20 心故不退於諸通用此不退諸通力故能過
- 21 无量仏利以无量方便度多衆生以常勤求

463 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 464 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 465 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 466 巢||櫟【大】 大正蔵に校注なし。
 467 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 468 愛||受【大】 大正蔵に校注なし。
 469 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 470 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 471 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 472 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 473 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 474 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 475 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 476 捨||總【大】 大正蔵に校注なし。
 477 无||无【大】 大正蔵に校注なし。
 478 无||无【大】 大正蔵に校注なし。

- 22 法无⁴⁷⁹疲倦⁴⁸⁰故得一一毛孔出无⁴⁸¹量法門用出
- 23 无⁴⁸²量法門力故能常以法施利益衆生以並
- 24 脩⁴⁸³慧方便波羅蜜故得分身智用此分身智

(第二十二紙) T13p106b04

- 1 力故能於諸趣中在在現身度化群生常以
- 2 无⁴⁸⁴相敬侍諸仏故得无⁴⁸⁵厭見聞以此无⁴⁸⁶厭見
- 3 聞力故其有衆生得見聞者彼諸衆生乃至
- 4 為作大涅槃因是為菩薩莊嚴功德資糧利
- 5 益衆生善男子云何菩薩世无⁴⁸⁷仏時能作仏
- 6 事化度衆生者若菩薩已成就菩薩十力已
- 7 於菩薩四无⁴⁸⁸畏中而得自在已於菩薩十八不
- 8 共法中不從他受已脩⁴⁸⁹如來力无⁴⁹⁰所畏不共
- 9 法等已得遊戲首楞嚴三昧已於四辯得智
- 10 力自在已於諸仏法得灌頂正位於一切諸
- 11 菩薩行得次仏神力若有菩薩成就如是等
- 12 法者若諸仏土衆生心見仏身而受化者然
- 13 後⁴⁹¹彼⁴⁹²土世无⁴⁹³仏時即於彼国而現入胎現初
- 14 生時現出家時現坐道場轉法輪時現捨壽
- 15 命未入涅槃時亦能示現大涅槃亦現法住
- 16 時節久近亦復不捨菩薩行法亦不用所化
- 17 以為滿足是為菩薩世无⁴⁹⁴仏時能作仏事化
- 18 度群生善男子云何菩薩得海印三昧能知
- 19 一切衆生心行者若菩薩多聞如海成就慧
- 20 衆常勤求法菩薩為聞法故盡能施与珍宝

479 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 480 倦||倦【大】 大正蔵に校注なし。
 481 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 482 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 483 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 484 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 485 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 486 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 487 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 488 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 489 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 490 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 491 〔後〕-【大】 大正蔵に校注なし。「後」の中央に見せ消ち(朱点)あり。
 492 「土」の右上に「國」(朱書)あり。
 493 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 494 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 21 庫藏為聞法故盡能施与僕從給使妻子眷
- 22 属為聞法故捨家飾好嚴身之具為聞法故
- 23 謙下給事為聞法故捨国土榮位及己身命
- 24 菩薩以如是等无495数方便勤求法門而不特496

(第二十四紙) T13p106b28~

- 1 所行菩薩為聞法故去至一由旬乃至百由
- 2 旬為聞一四句偈受持誦誦廣為人說不捨
- 3 是精進是菩薩自成就多聞於一切衆生生
- 4 大悲小无497愛498心不望報心乃至一衆生不生輕
- 5 賤而為說法從一日乃至七日而无499食想
- 6 乃至命終不捨說法以說法善根迴向海印
- 7 三昧随所聞法受持誦誦通利善知義趣不
- 8 依文字真実堅持終身不捨菩薩發大欲精
- 9 進以此大欲精進力故不久便得海印三昧
- 10 得此三昧已即得自然无500量阿僧祇百千万
- 11 億501法門得无502量阿僧祇百千万億脩503多羅不
- 12 從他聞自然能說一切諸仏所說悉能受持
- 13 能了了504一切衆生心行善男子喻如閻浮提
- 14 一切衆生身及余外色如是等色海中皆有
- 15 印像以是故名大海印菩薩亦復如是得大
- 16 海印三昧已能分別見一切衆生心行於一
- 17 切法門皆得慧明是為菩薩得海印三昧見
- 18 一切衆生心行所趣
- 19 善男子云何菩薩得知諸塵界无505礙者若菩
- 20 薩以眼空故知色亦空以色離故知眼亦離
- 21 耳鼻舌身亦如是意空故知法亦空以法離

495 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

496 特||特【大】 大正蔵に校注なし。「特」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「特」(朱書)あり。

497 小||心【大】 大正蔵に校注なし。「小」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「心」(朱書)あり。

498 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

499 愛||憂【大】 大正蔵に校注なし。

500 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

501 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

502 (億)一【大】 大正蔵に校注なし。

503 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

504 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。

505 (了)一【大】 大正蔵に校注なし。

506 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 22 故知意亦離菩薩如夷知空性離性於内外
- 23 法⁵⁰⁷无⁵⁰⁸有障礙知諸結本性淨故則不起使於
- 24 一切法⁵⁰⁹无⁵¹⁰所有著以不見諸法着処着法着

(第二十五紙) T13p106c23~

- 1 者是為菩薩能得知諸塵界⁵¹¹无⁵¹²礙
- 2 善男子云何菩薩威儀行成就離諸闇冥得
- 3 勝光明於諸法中得自然智速得成就一切
- 4 智行者若菩薩發起所作⁵¹³脩⁵¹⁴習正行諸業盡
- 5 是如來所許智者所讚所謂身口意業以行
- 6 此業故悅可諸仏及余賢聖善知識等所造
- 7 諸業⁵¹⁵无⁵¹⁶能譏嫌最勝⁵¹⁷上⁵¹⁸无⁵¹⁹与⁵²⁰等者⁵²¹无⁵²²能毀
- 8 損所作諸業終不悔退所作諸業不⁵²³雜⁵²⁴愚癡
- 9 所作諸業皆能觀知所作諸業終不動轉所
- 10 作諸業究竟吉祥是菩薩⁵²⁵智⁵²⁶所作業非憍慢
- 11 所造慧所作業非愚癡所造如是所作善業
- 12 已一切三昧諸陀羅尼門悉現在前不從他
- 13 聞菩薩若見諸仏若不見諸仏終不退轉助
- 14 菩提道諸善根若遇適意善知識不適意善
- 15 知識不退菩提法是菩薩過一切障礙地離
- 16 一切諸魔結使⁵²⁷脩⁵²⁸三解脱般若波羅蜜力故
- 17 故⁵²⁹疾得⁵³⁰仏道自然道一切智道如來道是為
- 18 菩薩威儀行成就離諸闇冥得勝光明於諸
- 19 法中得自然智速得成就一切智行爾時世
- 20 尊欲重宣此義而説偈言
- 21 已離⁵³¹辺⁵³²无⁵³³礙 慧功德莊嚴 彼離諸着相 迴向⁵³⁴无⁵³⁵上道

507 无⁵⁰⁷无⁵⁰⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 508 无⁵⁰⁸无⁵⁰⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 509 无⁵⁰⁹无⁵¹⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 510 脩⁵¹⁰脩⁵¹¹【大】 大正蔵に校注なし。
 511 无⁵¹¹无⁵¹²【大】 大正蔵に校注なし。
 512 无⁵¹²无⁵¹³【大】 大正蔵に校注なし。
 513 无⁵¹³无⁵¹⁴【大】 大正蔵に校注なし。
 514 无⁵¹⁴无⁵¹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 515 雜⁵¹⁵離⁵¹⁶【大】 大正蔵に校注なし。「雜」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「離」(朱書)あり。
 516 智⁵¹⁶知⁵¹⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 517 脩⁵¹⁷脩⁵¹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 518 〔故〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 519 无⁵¹⁹无⁵²⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 520 无⁵²⁰无⁵²¹【大】 大正蔵に校注なし。

- 22 捨我⁵²¹憍慢⁵²¹ 慢 慧者莊嚴智 无⁵²⁸障礙解脱 具足一切智
- 23 非色非種性 念仏非功德 不憶念法身 是念仏所許
- 24 離欲性寂靜 非相非明闇 无⁵²³心无⁵²¹意行 如是名念法

(第116紙) T13p107a22~

- 1 聖无⁵²⁵為无⁵²⁶愛 无⁵²⁷諸煩惱染 以解脱得称 名念僧无⁵²⁸礙
- 2 已捨一切受 无⁵²⁹陰界入行 解脱諸動念 名究竟念捨
- 3 不依无⁵³⁰漏戒 不行身口意 不生過三有 名念无⁵³¹漏戒
- 4 如天淨无⁵³²垢 兜率灌頂天 憶念自業報 当作天中天
- 5 持世尊正法 捨離諸煩惱 解脱法非法 是時⁵³³世尊法
- 6 如仏得道相 受持法亦然 善思惟真際 无⁵³⁴法可撰持
- 7 如我性淨故 諸法性亦淨 知衆生如相 而教化衆生
- 8 不見衆生增 亦復不見減 説断顛倒想 教化无⁵³⁵量衆
- 9 説諸陰界入 不異於仏界 知如虛空性 則入於仏界
- 10 言語諸文字 猶如呼聲響 知非内非外 即得陀羅尼
- 11 受持説誦利 進求説諸法 无⁵³⁶我无⁵³⁷法想 安住陀羅尼
- 12 持諸仏所説 善説悅衆心 不失諸禪定 是陀羅尼力
- 13 不持不誦文 不積集諸法 常説法无⁵³⁸礙 如龍降大雨
- 14 无⁵³⁹住无⁵⁴⁰障礙 説无⁵⁴¹礙⁵⁴²契經 不生衆生想 慧者得是辯
- 15 以仏力説法 莊嚴自威儀 悅衆随所樂 是辯仏所許
- 16 知法実性者 知与虚空等 无⁵⁴³我人寿命 如是持仏法

521 憍慢=慢憍【大】

- 522 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 523 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 524 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 525 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 526 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 527 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 528 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 529 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 530 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 531 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 532 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 533 時=持【大】 大正蔵に校注なし。
- 534 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 535 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 536 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 537 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 538 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 539 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 540 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 541 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
- 542 礙=量【大】 大正蔵に校注なし。

「時」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「持」（朱書）あり。

- 17 衆生同涅槃 究竟不生滅 得是不動忍 是為不放逸
- 18 見諸陰如幻 諸界如法性 六入如空聚 得離於陰魔
- 19 知使如浮雲 究竟⁵⁴⁴无⁵⁴⁴和合 於法⁵⁴⁵无⁵⁴⁵妄想 則離煩惱魔
- 20 知衆生不生 无⁵⁴⁶生則⁵⁴⁷无⁵⁴⁷死 諸法⁵⁴⁸无⁵⁴⁸去來 如是過死魔
- 21 无⁵⁴⁹愛⁵⁵⁰无⁵⁵⁰動者 行道⁵⁵¹无⁵⁵¹道想 无⁵⁵²我人行悲 則能降衆魔
- 22 知智識平等 不住為⁵⁵³无⁵⁵³為 知衆心如幻 心健⁵⁵⁴无⁵⁵⁴能壞
- 23 此彼⁵⁵⁵无⁵⁵⁵障礙 成就勝法船 度⁵⁵⁶衆⁵⁵⁷无⁵⁵⁷衆想 是謂大船師
- 24 知空⁵⁵⁸无⁵⁵⁸有我 淨生死渴愛 將⁵⁵⁹道⁵⁶⁰度⁵⁶⁰衆生 是謂大導師

(第十一七紙) T13p107c12~

- 1 善知進退相 隨法而依止 方便示涅槃 仏説善道⁵⁶¹師
- 2 知心心相統 二心不共俱 是名知心性 仏讚能護衆
- 3 知諸法性淨 如空中中月 智⁵⁶²者離煩惱 是謂淨衆生
- 4 知一余亦然 入諸法如夢虛妄 不可聚⁵⁶³得⁵⁶⁴道⁵⁶⁵无⁵⁶⁶深⁵⁶⁷行
- 5 説此分別諸法門時七十二那由他衆生發
- 6 阿耨多羅三藐三菩提心三万二千菩薩得
- 7 无⁵⁶⁸生法忍時大宝莊嚴堂六種震動大光普
- 8 照諸天於虛空中作百千種枝⁵⁶⁹樂雨種種天

543 无⁵⁴³无⁵⁴³【大】 大正蔵に校注なし。

544 无⁵⁴⁴无⁵⁴⁴【大】 大正蔵に校注なし。

545 无⁵⁴⁵无⁵⁴⁵【大】 大正蔵に校注なし。

546 无⁵⁴⁶无⁵⁴⁶【大】 大正蔵に校注なし。

547 无⁵⁴⁷无⁵⁴⁷【大】 大正蔵に校注なし。

548 无⁵⁴⁸无⁵⁴⁸【大】 大正蔵に校注なし。

549 无⁵⁴⁹无⁵⁴⁹【大】 大正蔵に校注なし。

550 无⁵⁵⁰无⁵⁵⁰【大】 大正蔵に校注なし。

551 无⁵⁵¹无⁵⁵¹【大】 大正蔵に校注なし。

552 无⁵⁵²无⁵⁵²【大】 大正蔵に校注なし。

553 无⁵⁵³无⁵⁵³【大】 大正蔵に校注なし。

554 无⁵⁵⁴无⁵⁵⁴【大】 大正蔵に校注なし。

555 无⁵⁵⁵无⁵⁵⁵【大】 大正蔵に校注なし。

556 度⁵⁵⁶无⁵⁵⁶【大】 大正蔵の校注には「渡⁵⁵⁶度⁵⁵⁶〔聖〕*」とある。

557 无⁵⁵⁷无⁵⁵⁷【大】 大正蔵に校注なし。

558 无⁵⁵⁸无⁵⁵⁸【大】 大正蔵に校注なし。

559 道⁵⁵⁹无⁵⁵⁹【大】 大正蔵の校注には「導⁵⁵⁹道⁵⁵⁹〔聖〕*」とある。

560 度⁵⁶⁰无⁵⁶⁰【大】 大正蔵に校注なし。

561 道⁵⁶¹无⁵⁶¹【大】 大正蔵に校注なし。

562 智⁵⁶²无⁵⁶²【大】 大正蔵に校注なし。

563 妄⁵⁶³无⁵⁶³【大】 大正蔵に校注なし。

564 聚⁵⁶⁴无⁵⁶⁴【大】 大正蔵に校注なし。

565 无⁵⁶⁵无⁵⁶⁵【大】 大正蔵に校注なし。

566 深⁵⁶⁶无⁵⁶⁶【大】 大正蔵に校注なし。「深?」の右傍に「染」(朱書)あり。

567 行⁵⁶⁷无⁵⁶⁷【大】 大正蔵に校注なし。「行」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「汚」(朱書)あり。

568 无⁵⁶⁸无⁵⁶⁸【大】 大正蔵に校注なし。

9 華説如是言此諸衆生為如来印所印已入
 10 如來法中聞此法門心得信解受持通利能
 11 為他説如法脩570行白仏言世尊我等一切向
 12 此仏土深心供養恭敬禮拜以如来応供正
 13 遍知出世故聞説此方便法門及見此土菩
 14 薩爾時虚空蔵菩薩聞仏解説已心淨歎喜
 15 心淨歎喜已以571无571 価宝網供養於仏宝網中
 16 放大光明照十方諸仏国土供養已白仏言
 17 世尊未曾有也如来572无572 礙智如是甚深難解
 18 如來応供正遍知如所聞法門仏以573无573 礙智
 19 如実解説一切大衆皆得歎喜

大方等大集經卷第十四574

23 皇后藤原氏光明子奉為

24 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣贈從

(第二十八紙)

1 一位橘氏太夫人敬写一切經論及律莊
 2 嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥助永庇
 3 菩提之樹長遊般若之津又願上奉
 4 聖朝恒延福寿下及寮采共盡忠節又
 5 光明子自発誓言弘濟沈淪勤除煩障
 6 妙窮諸法早契菩提乃至伝灯無窮
 7 流布天下聞名持卷獲福消災一切迷
 8 方会帰覚路

天平十二年五月一日記

13 12 11 10 9

569 枝||伎【大】 大正蔵に校注なし。「枝」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「伎」(朱書)あり。
570 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
571 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
572 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
573 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
574 四||五【大】

17 16 15 14

(後補軸付紙)

昭和二年十一月修理之

帝室博物館總長大島義脩(花押)

董事奈良帝室博物館長久保田鼎(花押)